

2017 中野区区民意識・実態調査

《概要版》

調査の概要

〔調査の項目〕

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 定住意向について | 7 人権・男女共同参画について |
| 2 生活環境について | 8 ユニバーサルデザインについて |
| 3 社会や地域との関わりについて | 9 医療保険制度について |
| 4 中野駅周辺について | 10 区政情報の入手について |
| 5 公園・広場等の利用について | 11 外国の方との交流・外国人旅行者について |
| 6 地震災害への対策について | 12 施策への評価・要望について |

〔調査対象〕 中野区民で 20 歳以上の男女個人

〔標本数〕 2,000 人

〔有効回収数〕 1,167 人 (58.4%)

〔抽出方法〕 層化二段無作為抽出法

〔調査方法〕 郵送配布・郵送回収

〔調査期間〕 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ～ 平成 29 年 10 月 12 日 (木)

結果の見方

- (1) (複数回答) (3 つまで回答) と記述されたもの以外は、選択肢を 1 つだけ選ぶ設問です。
- (2) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、単数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が 100.0% に満たない、または上回る場合がある。また、小計の比率が各選択肢の比率の合計に満たない、または上回る場合がある。
- (3) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常 100.0% を超える。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (5) グラフに表記されている「n=*」(*は数字) は、集計対象の母数を表している。

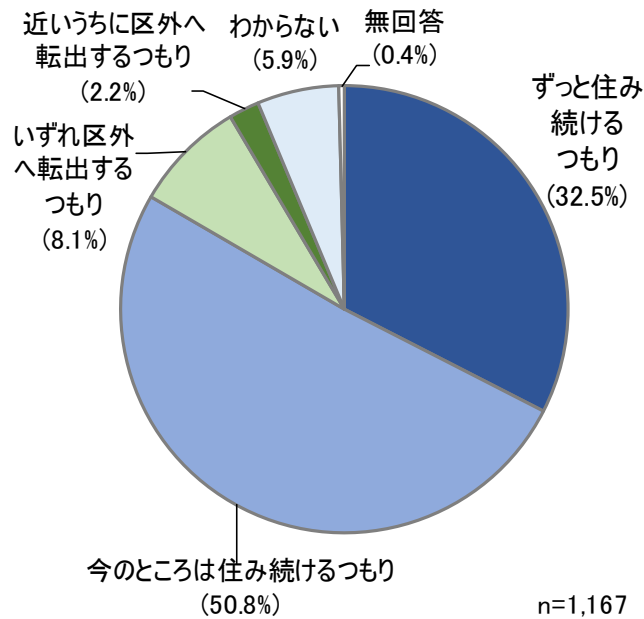
2018 年 (平成 30 年) 2 月

中 野 区

1 定住意向について

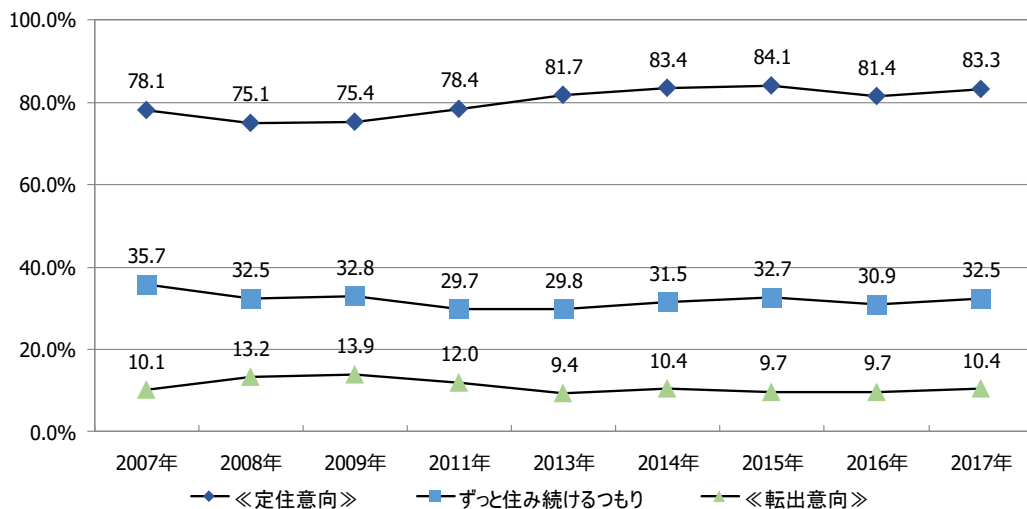
1 区内定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(32.5%)と「今のところは住み続けるつもり」(50.8%)を合わせた《定住意向》(83.3%)は8割強と多くなっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(8.1%)、「わからない」(5.9%)、「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.2%)は、それぞれ1割未満となっている。



<参考>経年調査との比較

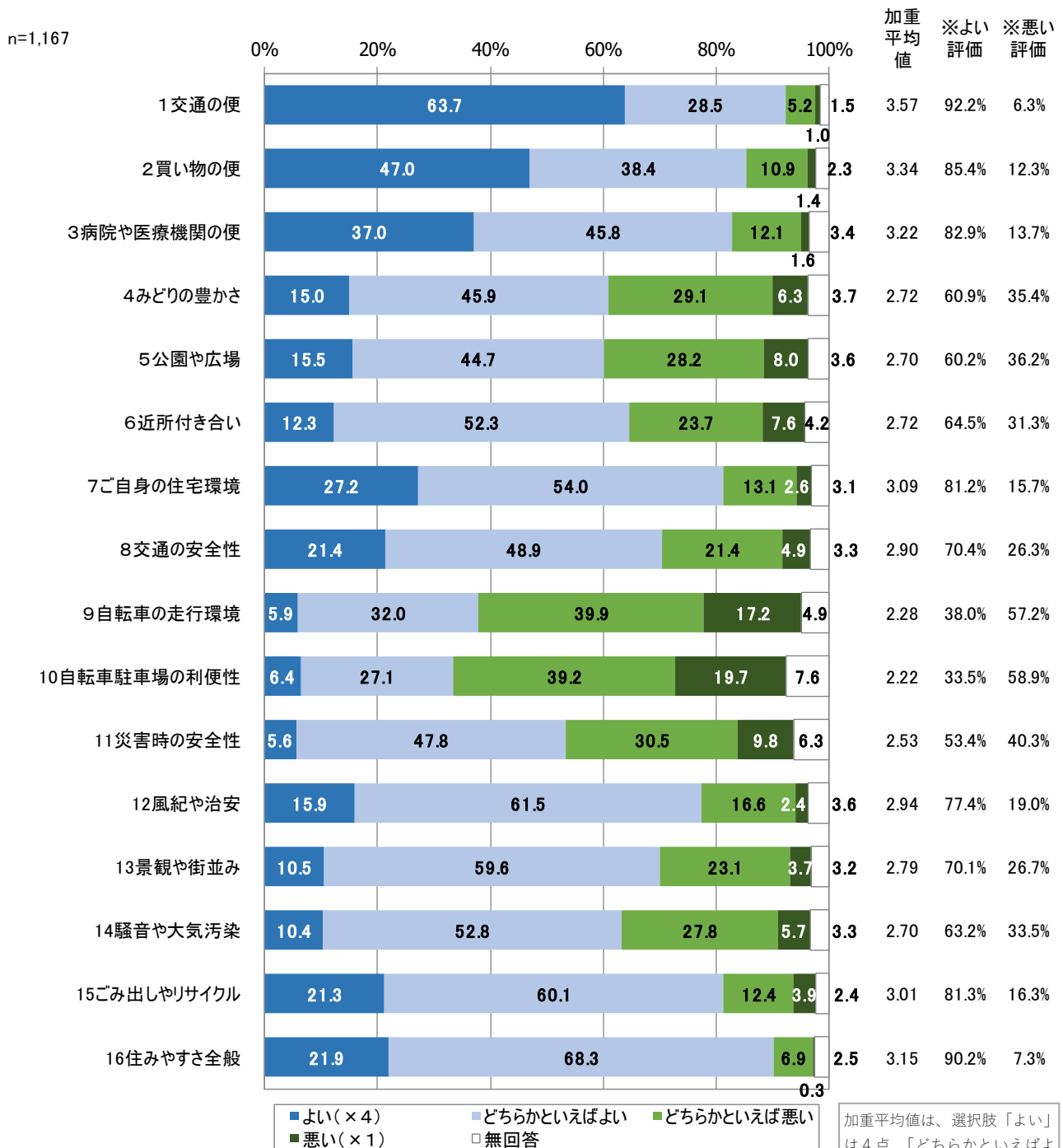
定住・転出意向の推移をみると、《定住意向》と《転出意向》ともに昨年2016年から大きな変化はみられない。



2 生活環境について

1 生活環境の評価

自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか 16 項目にわたり聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》では、「①交通の便」(92.2%) が9割強と最も高く、以下「⑯住みやすさ全般」(90.2%)、「②買い物の便」(85.4%) の順となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》では、「⑩自転車駐車場の利便性」(58.9%) と「⑨自転車の走行環境」(57.2%) がそれぞれ6割弱を占めて高い。

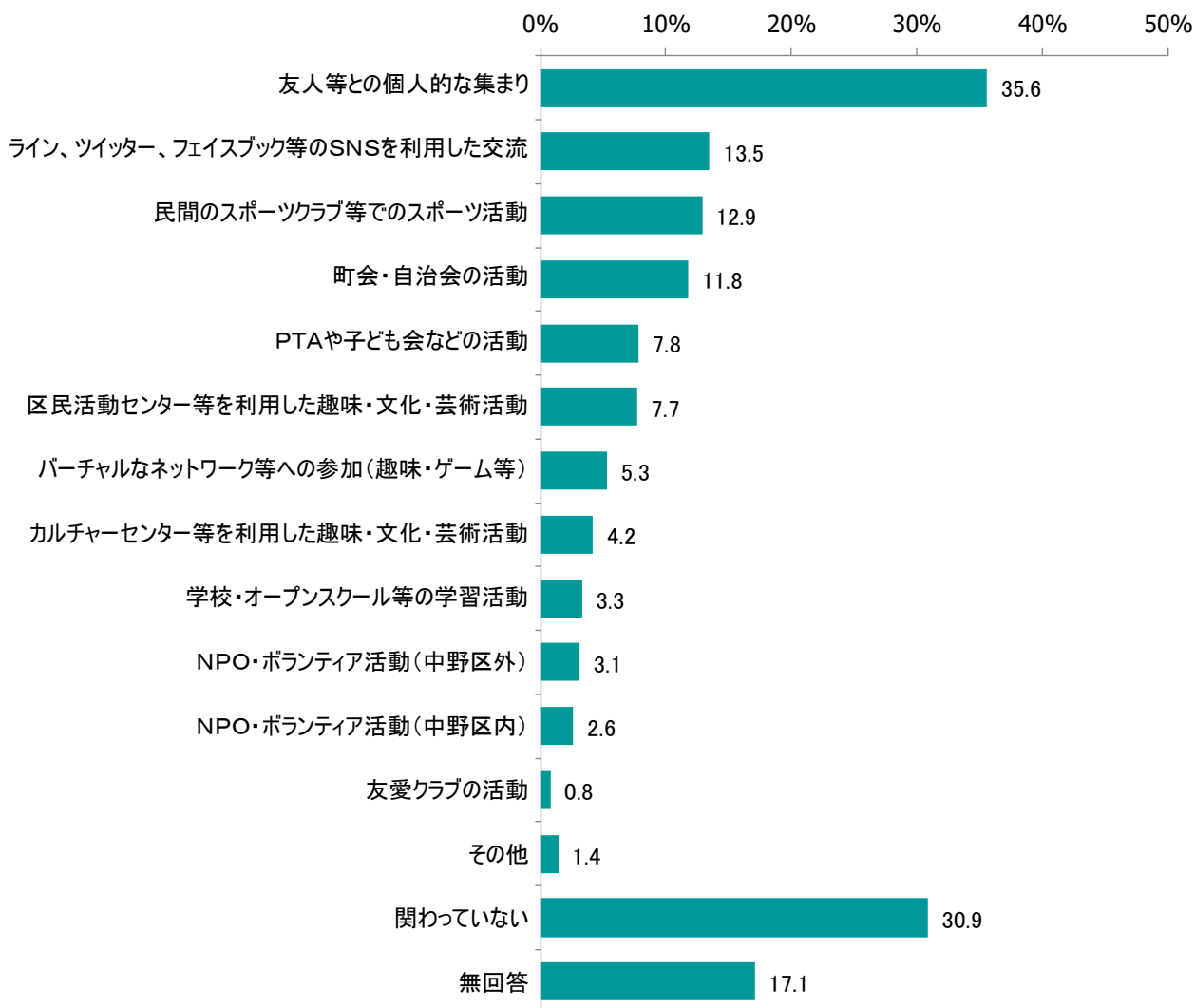


3 社会や地域との関わりについて

1 最近1年間に参加した地域活動

最近1年間に、仕事以外で社会や地域とどのような関わりがあったか（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（35.6%）が最も高いが、次いで「関わっていない」（30.9%）が3割強で続く。

以下、「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」（13.5%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（12.9%）、「町会・自治会の活動」（11.8%）の3項目が1割台で続いて上位となっている。



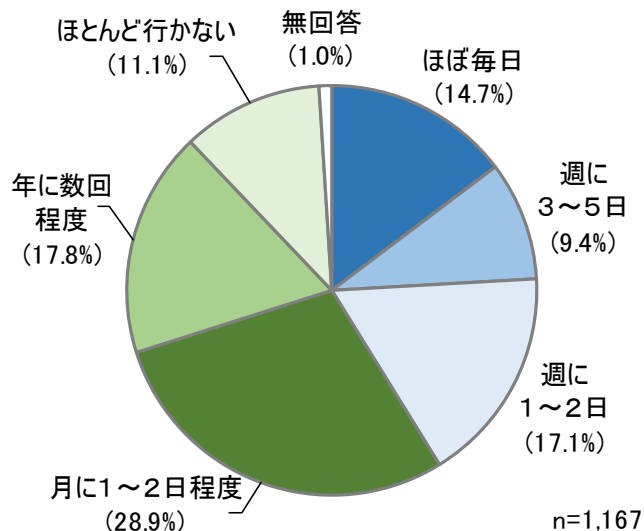
n=1,167

4 中野駅周辺について

1 中野駅周辺の訪問頻度

中野駅周辺へ行く頻度を聞いたところ、「月に1～2日程度」(28.9%)が最も多く、次いで「年に数回程度」(17.8%)、「週に1～2日」(17.1%)の順となっている。

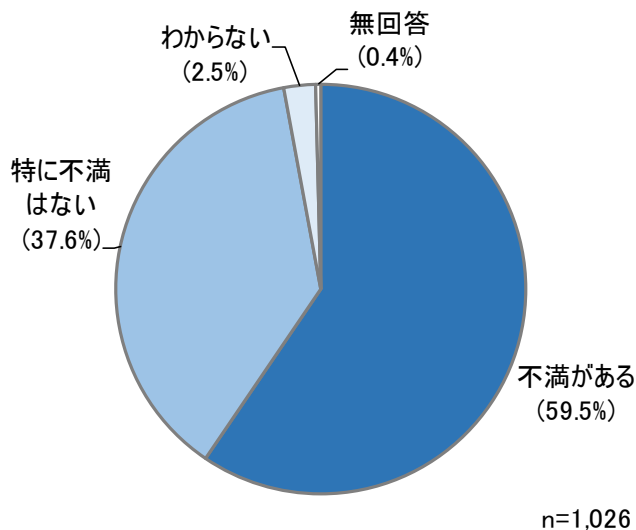
「ほぼ毎日」(14.7%)、「週に3～5日」(9.4%)、「週に1～2日」(17.1%)を合わせた「週1日以上」(41.2%)行く人は4割強となっている。



2 中野駅周辺利用時の不満の有無

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「不満がある」(59.5%)が約6割を占めて多く、4割弱の「特に不満はない」(37.6%)を大きく上回っている。

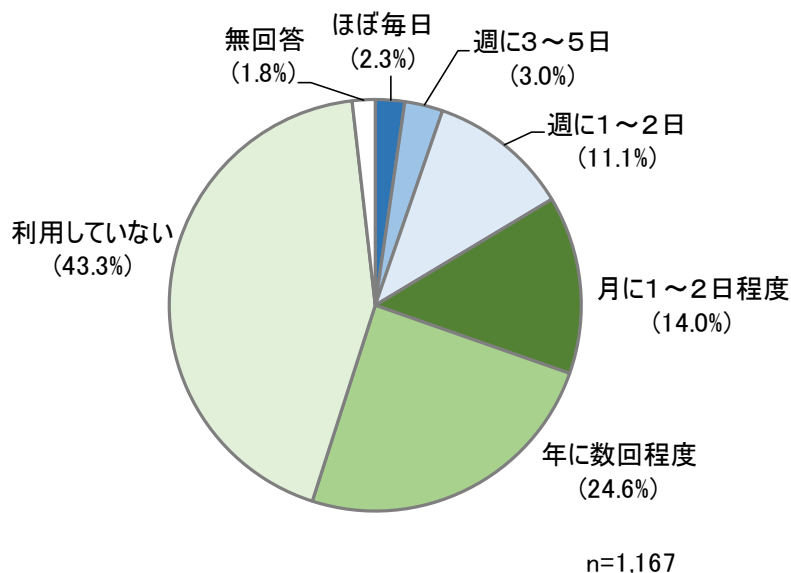
中野駅周辺の利用に不満を感じている人に、不満の内容(複数回答)を聞いたところ、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」(55.6%)が最も高く、以下「混雑していて歩きにくい」(49.3%)、「自転車マナーの悪い人がいる」(39.3%)、「目的の場所から自転車駐車場が遠い」(36.9%)、「駅の南北が行き来しづらい」(30.2%)の順となっている。



5 公園・広場等の利用について

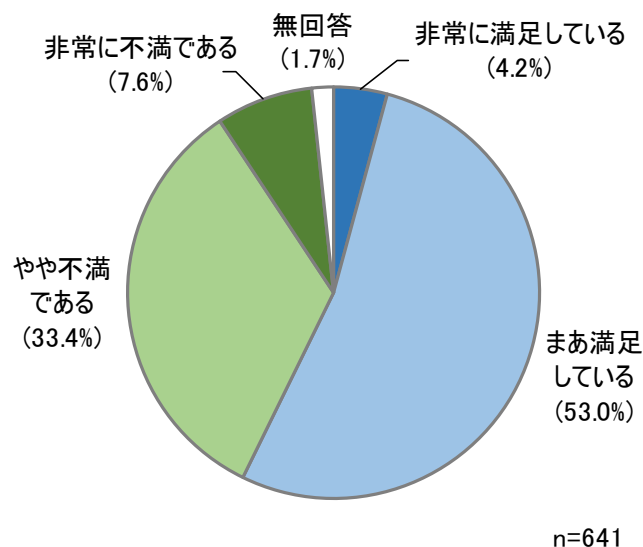
1 区内の公園や広場の利用状況

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(43.3%)が4割強を占めて最も多く、次いで「年に数回程度」(24.6%)が続き、以下「月に1～2日程度」(14.0%)、「週に1～2日」(11.1%)の順となっている



2 区内の公園や広場の満足度

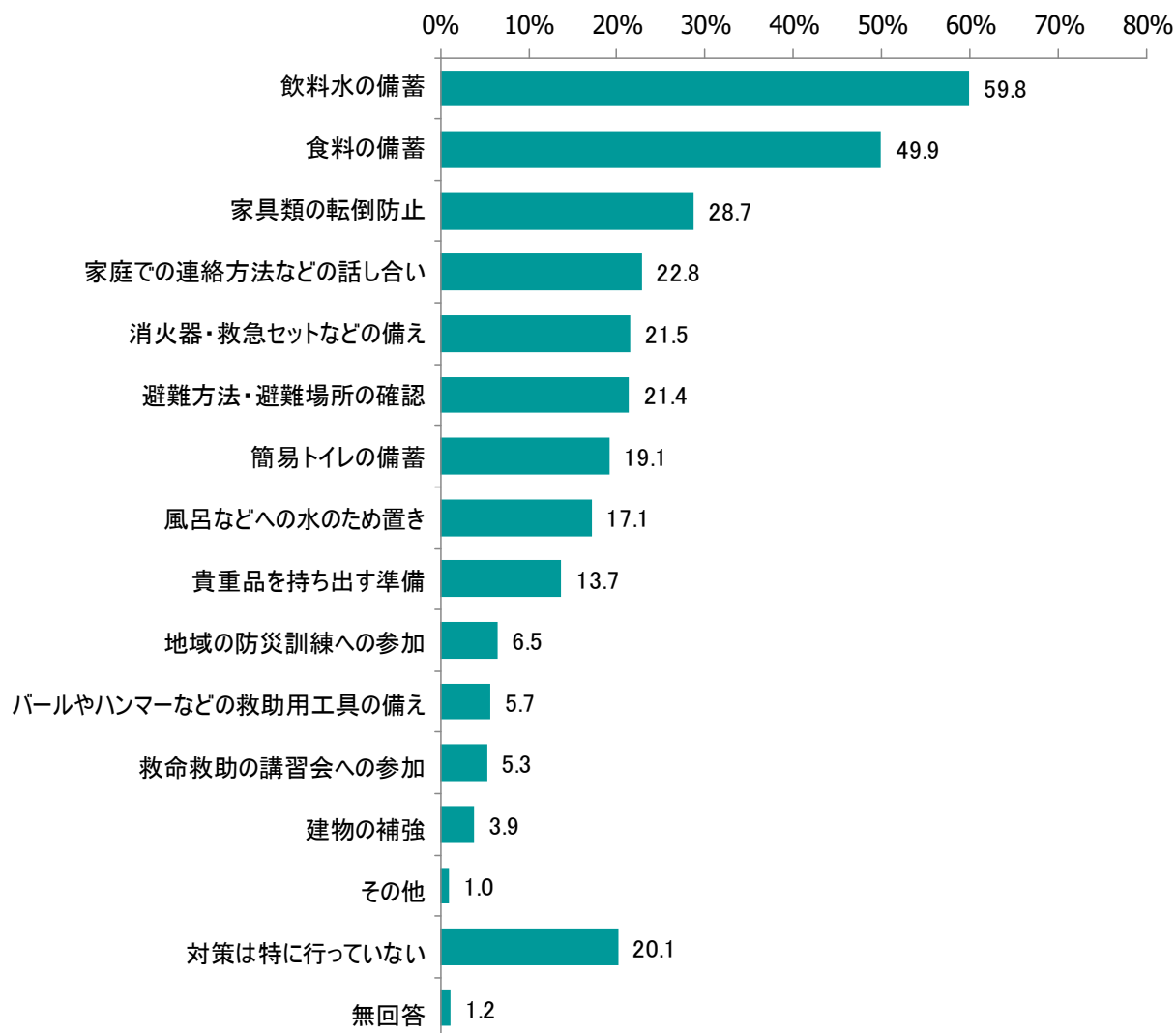
公園や広場の利用者に満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(53.0%)が5割強を占めて最も多く、これに「非常に満足している」(4.2%)を合わせた《満足している計》(57.3%)は6割弱で多数派となっている。一方、「やや不満である」(33.4%)と「非常に不満である」(7.6%)を合わせた《不満である計》(41.0%)は4割強となっている。



6 地震災害への対策について

1 家庭での備え

地震災害に備えた家庭内での対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（59.8%）が6割で最も多く、次いで「食料の備蓄」（49.9%）が5割で続き、以下「家具類の転倒防止」（28.7%）、「家庭での連絡方法などの話し合い」（22.8%）、「消火器・救急セットなどの備え」（21.5%）、「避難方法・避難場所の確認」（21.4%）の順となっている。一方、「対策は特に行っていない」（20.1%）も2割みられる。



n=1,167

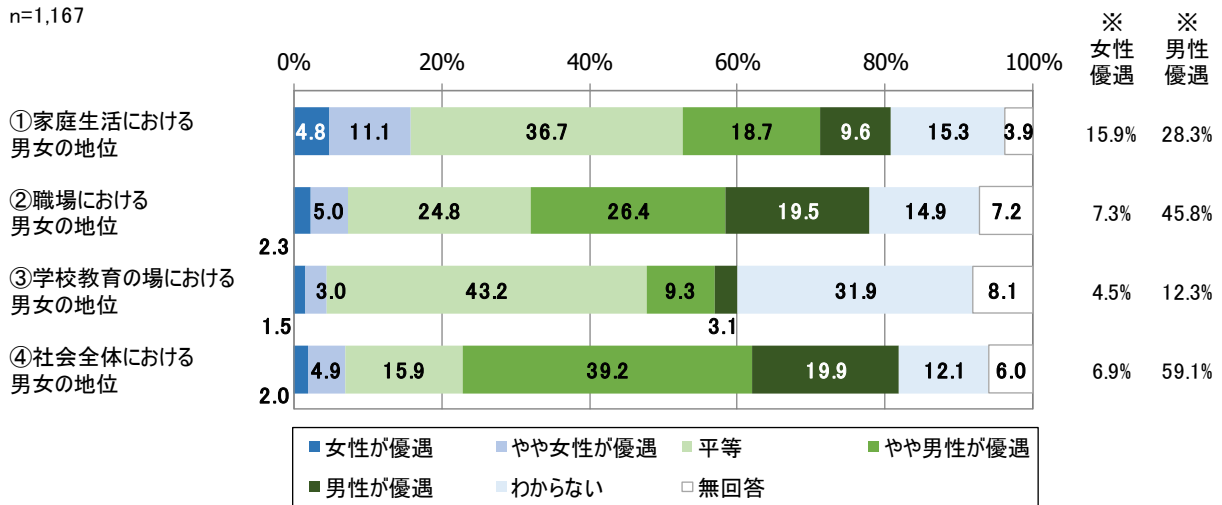
7 人権・男女共同参画について

1 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位が平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も多かったのは、『学校教育の場』（43.2%）であり、以下『家庭生活』（36.7%）、『職場』（24.8%）、『社会全体』（15.9%）の順となっている。

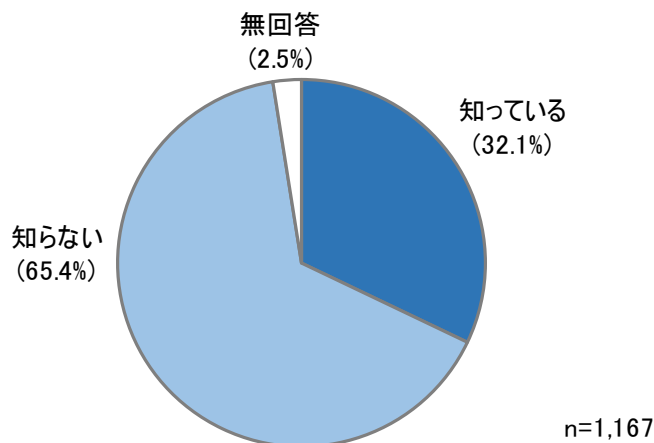
一方、4つの分野はいずれも「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた≪男性優遇≫の方が≪女性優遇≫を上回って多くなっているが、その格差が最も大きいのは、『社会全体』（男性優遇計 59.1% > 女性優遇計 6.9%・格差 52.2ポイント）となっている。

n=1,167



2 人権侵害に関する相談体制の認知有無

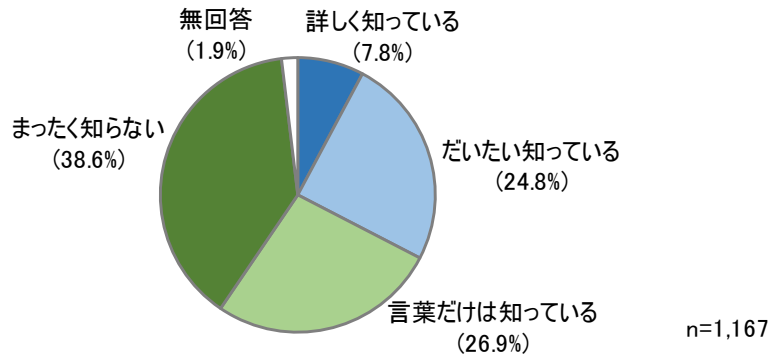
人権侵害に関する相談体制の認知について聞いたところ、「知らない」（65.4%）が6割台半ばを占めて多く、「知っている」（32.1%）は3割強となっている。



8 ユニバーサルデザインについて

1 ユニバーサルデザインの認知度

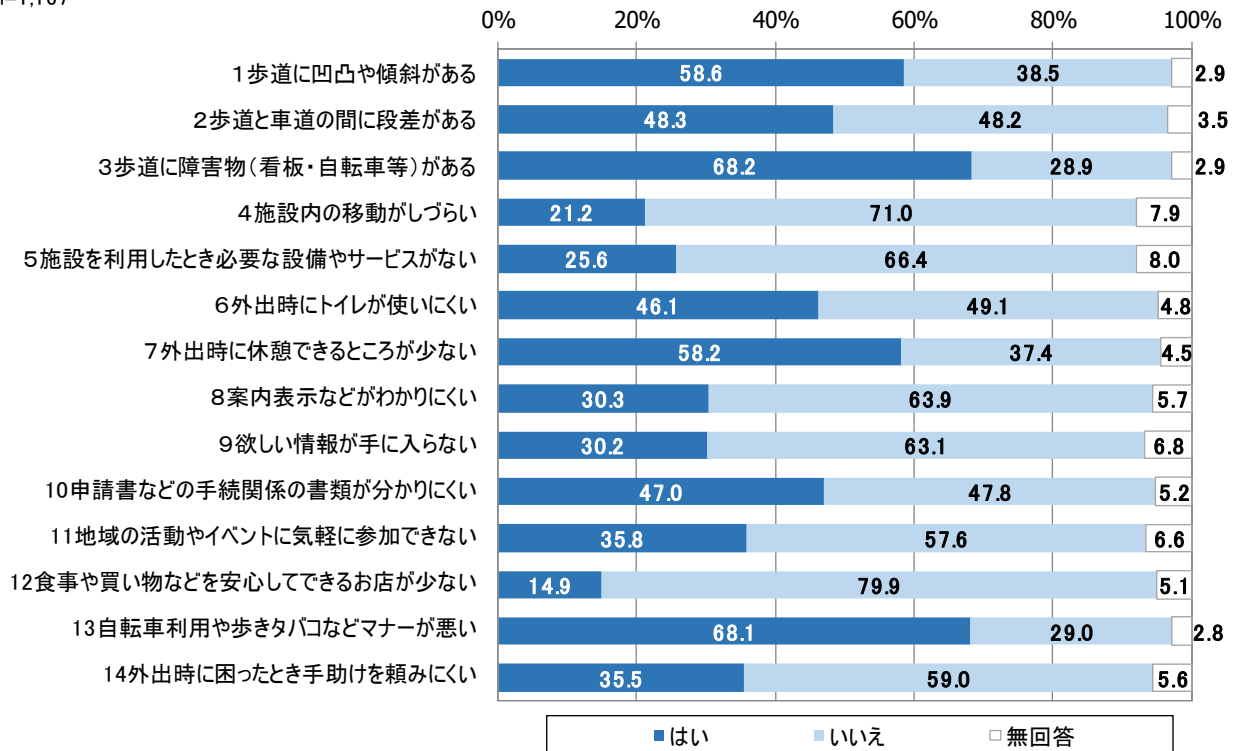
ユニバーサルデザインの認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(7.8%)と「だいたい知っている」(24.8%)に、「言葉だけは知っている」(26.9%)を加えた《知っている計》(59.5%)がほぼ6割で、「まったく知らない」(38.6%)は4割弱となっている。



2 普段の生活で感じる不便

普段の生活で感じる不便について、『③歩道に障害物(看板・自転車等)がある』(68.2%)と『⑬自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い』(68.1%)の2項目で「はい」がそれぞれ7割弱の僅差で並んで高い。これらに次いで『①歩道に凹凸や傾斜がある』(58.6%)と『⑦外出時に休憩できる場所が少ない』(58.2%)でそれぞれ「はい」が6割弱で並んで上位となっている。

n=1,167

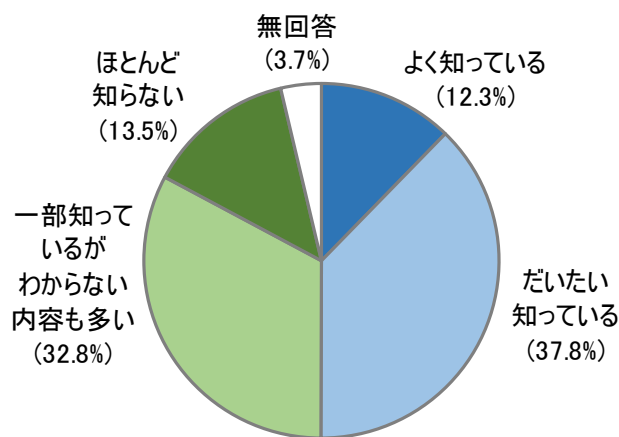


9 医療保険制度について

1 国民健康保険のしくみ認知度

74歳以下の人に国民健康保険のしくみをどの程度知っているかを聞いたところ、「だいたい知っている」(37.8%)が4割弱で最も多く、これに「一部知っているがわからない内容も多い」(32.8%)が続き、以下「ほとんど知らない」(13.5%)、「よく知っている」(12.3%)の順となっている。

「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた《知っている計》(50.1%)は5割でちょうど半数を占めている。

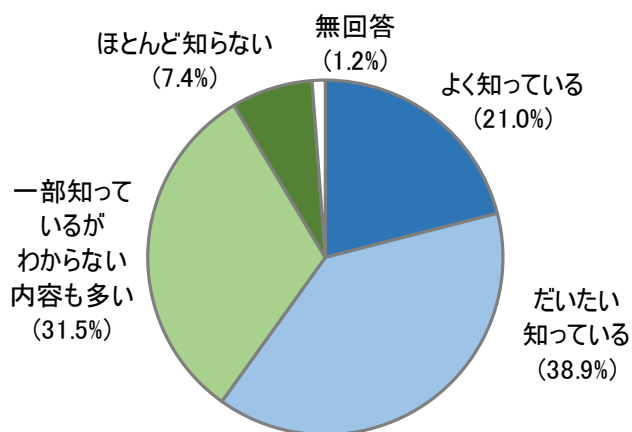


n=980

2 後期高齢者医療制度のしくみ認知度

75歳以上の人に、後期高齢者医療制度のしくみについてどの程度知っているかを聞いたところ、「だいたい知っている」(38.9%)が4割弱で最も多く、これに「一部知っているがわからない内容も多い」(31.5%)、「よく知っている」(21.0%)、「ほとんど知らない」(7.4%)が続く構成となっている。

「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた《知っている計》(59.9%)は6割を占めている。



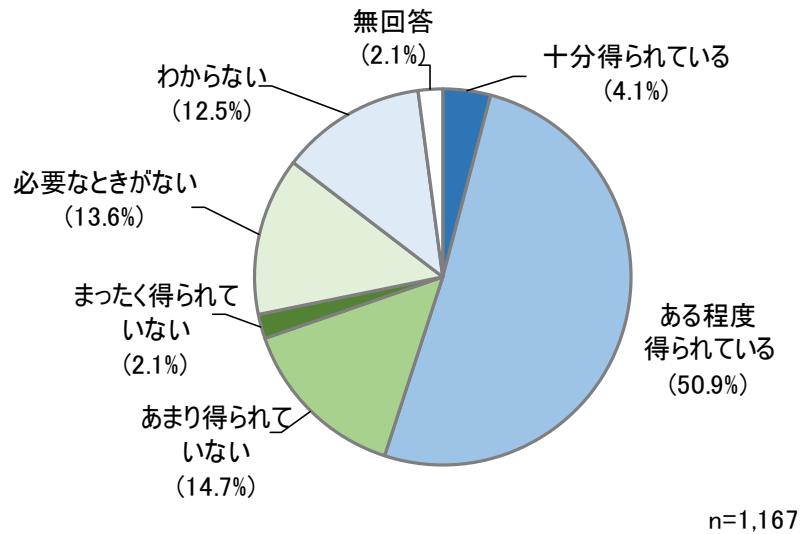
n=162

10 区政情報の入手について

1 区政情報の入手状況

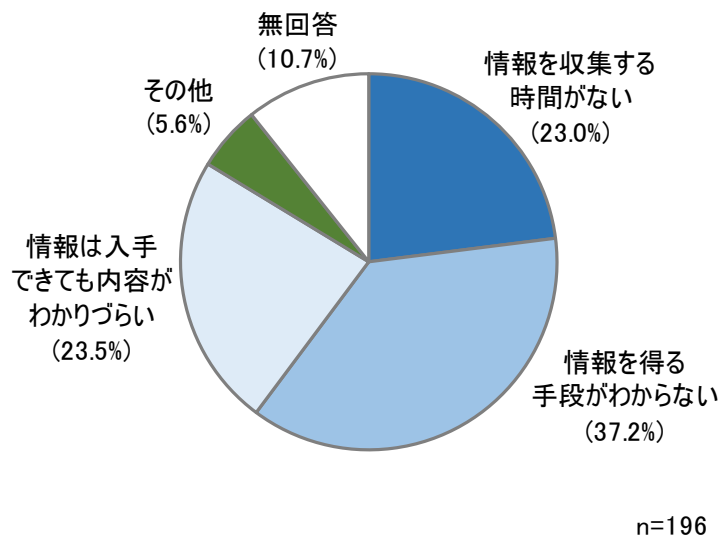
必要とする中野区政の情報が得られているかを聞いたところ、「ある程度得られている」(50.9%)が半数を超えて最も多く、以下「あまり得られていない」(14.7%)、「必要なときがない」(13.6%)の順となっている。

「十分得られている」と「ある程度得られている」を合わせた《得られている計》(55.0%)は5割台半ばとなっている。



2 区政情報が得られない理由

中野区政情報を得られていない人に、その主な理由を聞いたところ、「情報を得る手段がわからない」(37.2%)が最も多く、これに「情報は入手できてても内容がわかりづらい」(23.5%)と「情報を収集する時間がない」(23.0%)の2項目がそれぞれ2割台で並んで続く結果となっている。

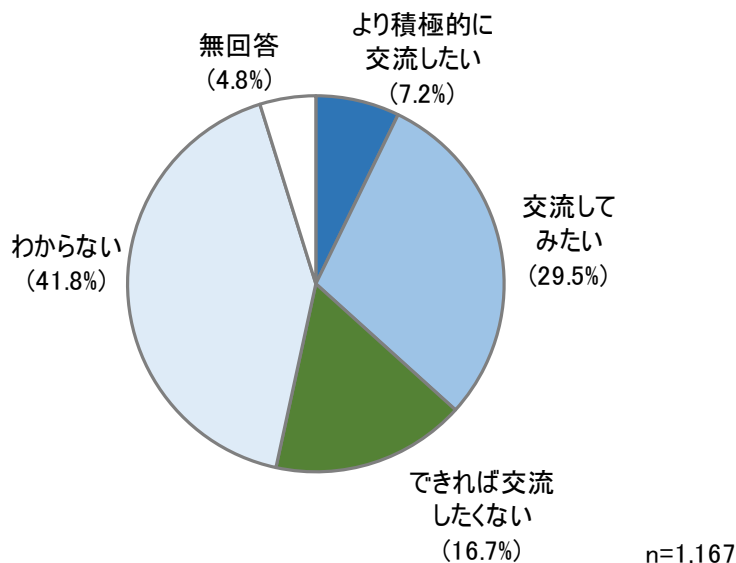


11 外国の方との交流・外国人旅行者について

1 外国人旅行者との交流意向

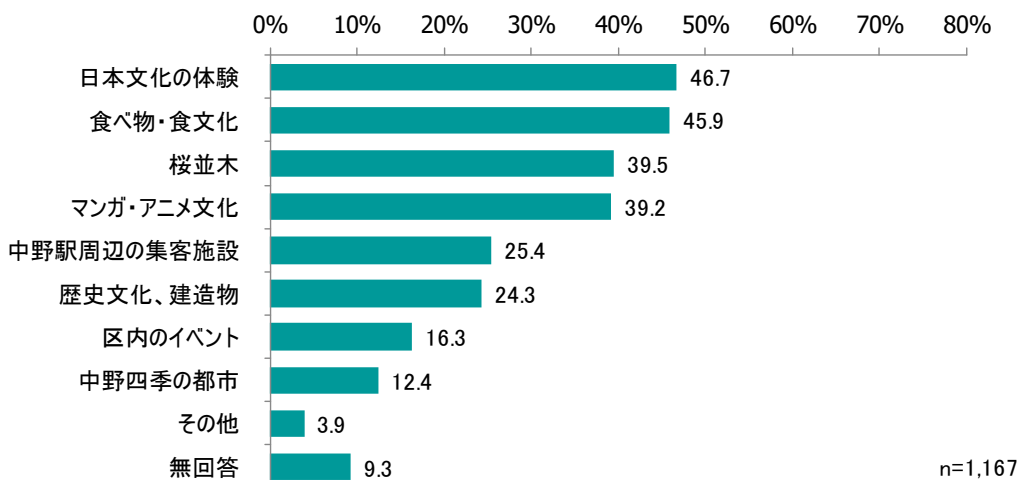
外国人旅行者との交流についての意向を聞いたところ、「わからない」(41.8%)が4割強で最も多く、以下「交流してみたい」(29.5%)、「できれば交流したくない」(16.7%)、「より積極的に交流したい」(7.2%)の順となっている。

なお、「より積極的に交流したい」と「交流してみたい」を合わせた《交流したい計》(36.7%)は4割弱あり、「できれば交流したくない」を20ポイント上回って多くなっている。



2 外国人旅行者へのアピールポイント

外国人旅行者へのアピールポイント(複数回答)を聞いたところ、「日本文化の体験」(46.7%)と「食べ物・食文化」(45.9%)が4割台半ばの僅差で並んで高く、これに「桜並木」(39.5%)と「マンガ・アニメ文化」(39.2%)が約4割、「中野駅周辺の集客施設」(25.4%)と「歴史文化、建造物」(24.3%)が2割台半ばで続き上位となっている。



12 施策への評価・要望について

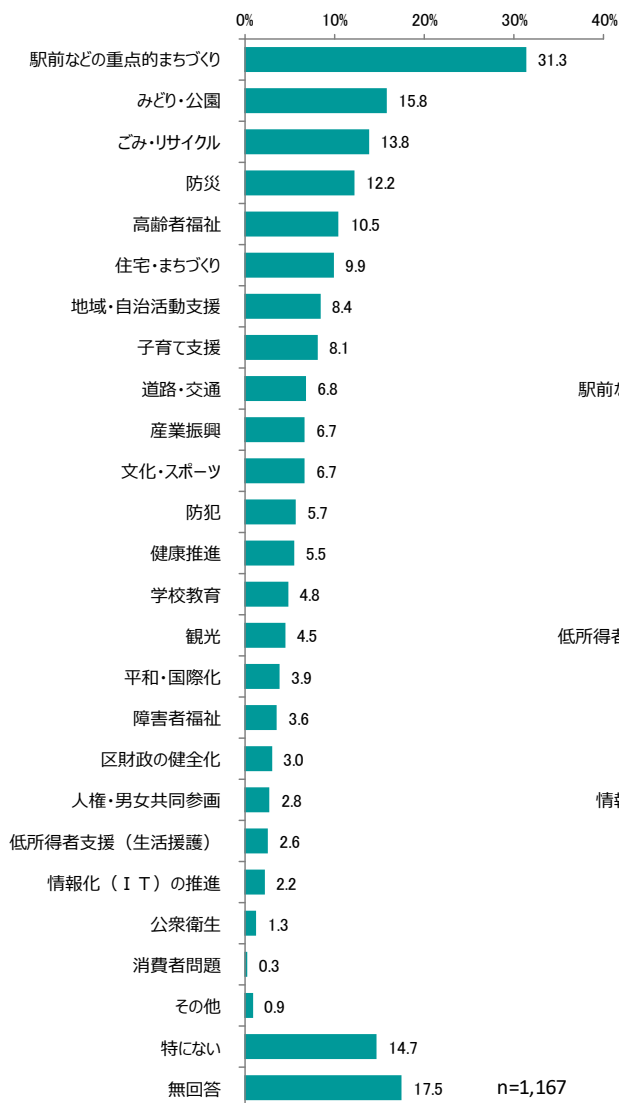
1 区の施策への評価と要望

区が特に力を入れていると評価できる施策（3つまで回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（31.3%）が唯一3割を超えて最も高く、以下「みどり・公園」（15.8%）、「特にない」（14.7%）、「ごみ・リサイクル」（13.8%）、「防災」（12.2%）、「高齢者福祉」（10.5%）が1割以上となっている。

今後特に力を入れてほしい施策（3つまで回答）について、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計（1位～3位計）では「防災」（24.7%）が最も高く、以下「高齢者福祉」（23.1%）と「子育て支援」（21.2%）が続く、これら3項目が2割台で上位項目となっている。

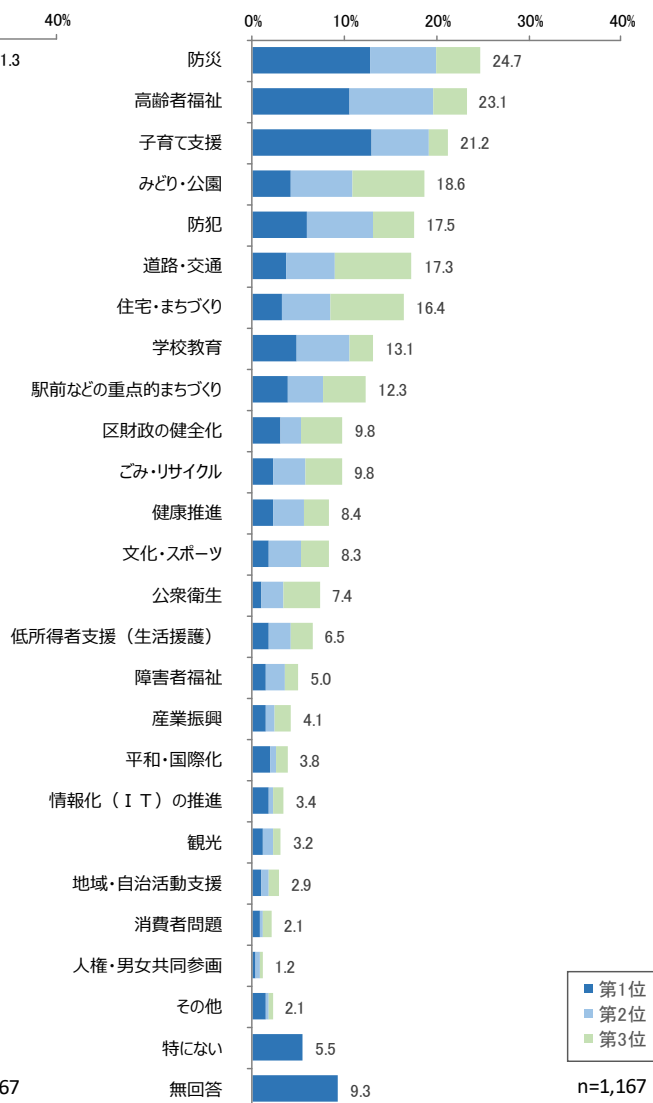
【区の施策への評価】

（3つまで回答）



【区の施策への要望】

（第1位～3位と合計）



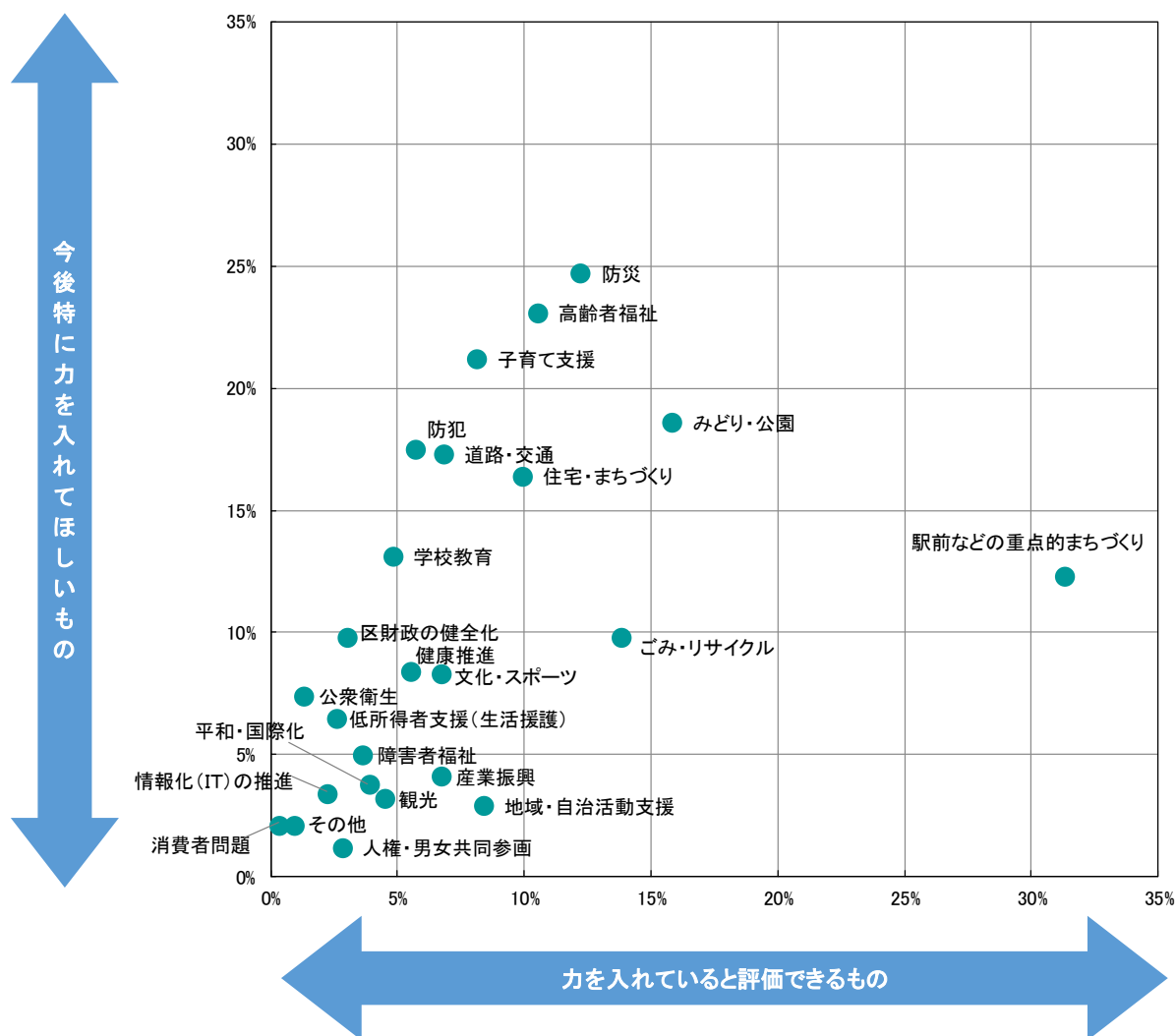
※「特にない」「無回答」は1位のみを表示

2 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への評価と要望の関係をみるために「力をいれていると評価できるもの」を横軸に「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、23項目とその他の位置をあらわしたのが下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」は低いが、「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」が高いが、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリ別でみると、左上には「防災」、「高齢者福祉」、「子育て支援」、「防犯」、「道路・交通」、「住宅・まちづくり」、「みどり・公園」が位置づけられている。一方、右下には「駅前などの重点的まちづくり」が位置づけられている。



3 区の施策への要望（順位の変化）

過去8回および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、今回17.5%の「防犯」が昨年より5ポイントダウンし、2007年以降初めて上位3位から外れた。一方、今回24.7%の「防災」は昨年と変わらずトップで、「高齢者福祉」が23.1%で続く。なお、今回は「子育て支援」が昨年と同率の21.2%で、2007年以降初めて単独で上位3位（2014年は「防犯」と並び3位）に入った。

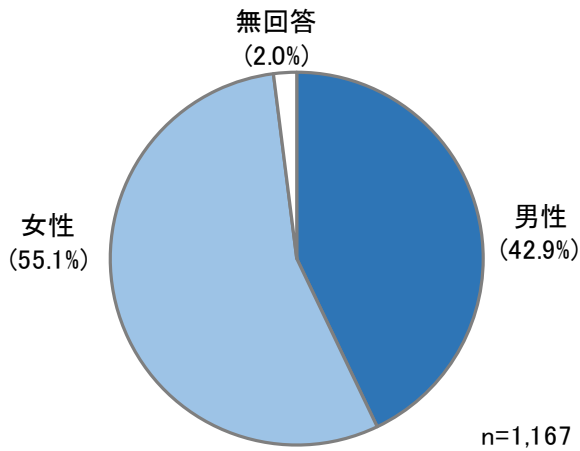
上段は施策、下段は回答割合（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2007年 (n=1,104)	防犯 28.4	高齢者福祉 27.4	防災 25.5	みどり・環境 18.8	健康 15.4	子育て支援 13.2	ごみ対策 12.1	公園整備 11.7	道路整備 11.1	低所得者支援 9.8
2008年 (n=887)	高齢者福祉 26.4	防災 26.3	防犯 26.0	みどり・公園 18.3	道路・交通 16.9	環境改善 14.9	ごみ対策 12.7	子育て支援 12.4	健康 10.7	学校教育 9.7
2009年 (n=1,019)	防犯 28.0	高齢者福祉 25.7	みどり・公園 21.4	道路・交通 18.0	防災 17.3	子育て支援 14.8	健康 12.6	環境改善 10.4	子ども育成 9.7	ごみ対策 9.6
2011年 (n=1,395)	防災 28.9	防犯 22.9	高齢者福祉 22.8	みどり・公園 21.9	道路・交通 16.6	子育て支援 16.2	環境改善 10.8	健康 10.8	低所得者支援 10.5	住宅・まちづくり 10.2
2013年 (n=1,436)	防災 36.2	高齢者福祉 31.6	防犯 21.2	子育て支援 19.4	みどり・公園 17.2	道路・交通 17.0	駅前などの重点的 まちづくり 13.3	健康推進 12.2	学校教育 12.1	住宅・まちづくり 12.1
2014年 (n=1,249)	防災 31.5	高齢者福祉 27.1	防犯 20.7	子育て支援 20.7	道路・交通 19.9	みどり・公園 17.6	駅前などの重点的 まちづくり 14.8	学校教育 12.6	住宅・まちづくり 10.4	産業振興 9.9
2015年 (n=1,277)	高齢者福祉 27.0	防災 25.7	防犯 22.2	子育て支援 21.0	みどり・公園 17.8	道路・交通 15.6	駅前などの重点的 まちづくり 13.2	学校教育 12.5	区財政の健全化 11.1	住宅・まちづくり 10.4
2016年 (n=1,228)	防災 27.8	防犯 22.5	高齢者福祉 22.4	子育て支援 21.2	住宅・まちづくり 17.0	みどり・公園 15.9	道路・交通 14.3	駅前などの重点的 まちづくり 13.3	区財政の健全化 11.1	学校教育 11.0
2017年 (n=1,167)	防災 24.7	高齢者福祉 23.1	子育て支援 21.2	みどり・公園 18.6	防犯 17.5	道路・交通 17.3	住宅・まちづくり 16.4	学校教育 13.1	駅前などの重点的 まちづくり 12.3	ごみ・リサイクル/区財政の健全化 9.8

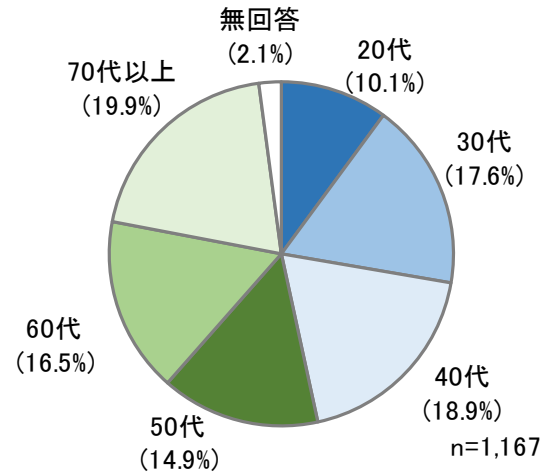
* 同率（%）の場合は、同順位である。

回答者属性

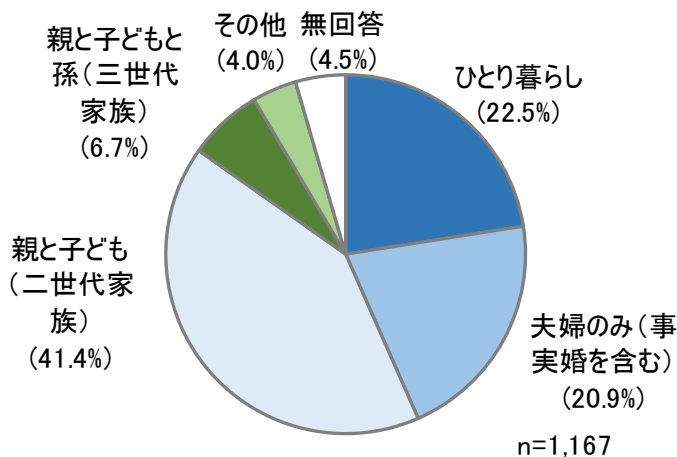
性別



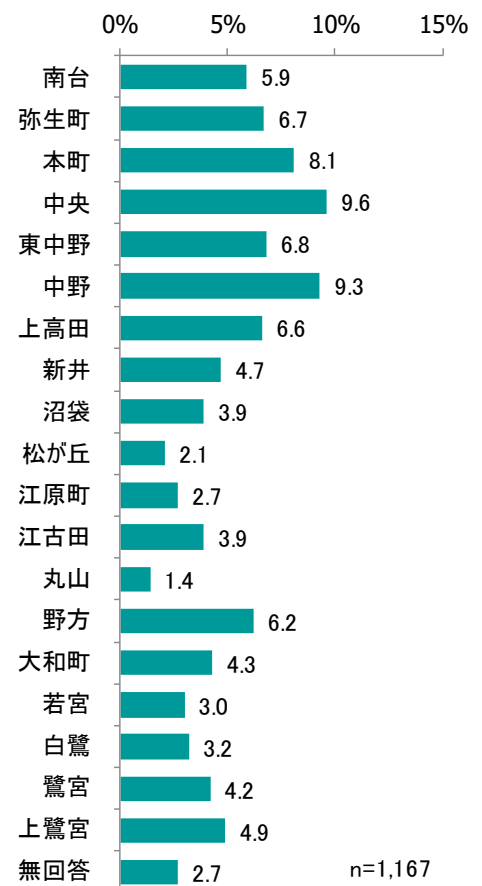
年代



同居家族形態



居住地域



2017年中野区区民意識・実態調査報告書
 平成30年2月発行 文書番号29中政企第674号
 発行：中野区政策室企画分野政策情報担当
 東京都中野区中野4-8-1
 電話 03-3228-8892 (直通)